



……熊本地震にみる震災への備え……

Q1 子どもの心のケア！

被災した子どもの心のケアが重要である。相談窓口の設置と避難所に遊び場の確保を要望する。



A1 健康相談窓口を設置する他、巡回相談チーム(精神科医等)の人材を確保する。遊び場は、避難所連絡会議で検討するよう提案する。

Q2 女性の視点！

女性の視点での災害対応を学ぶため、女性目線の「しながわ防災学校」の開催を求める。



A2 女性目線の「しながわ防災学校」研修コースを、現在検討している。

Q3 障がい者の避難を支援！

障がい者避難計画の現状を聞く。また、全避難所で同じ対応ができるようパンフレット作成などの取り組みを求める。

A3 防災区民組織に防災コンサルタントを派遣し、支援者の確保、避難個別計画の作成など、具体化に向けた準備を進めている。
各避難所の対応は、避難所連絡会議の中で障がい者への配慮の啓発を行っていく。



……誰もが安心できる子育て家庭支援……

Q1 病児保育の充実！

病児保育の定員拡大には課題あり。仕事を休めない保護者のため、訪問型病児保育の助成制度を創設すべき。

A1 病児保育は協力できる医療機関に限られ、利用者が地域的に偏在していること、キャンセルが多いことなどの問題が顕在化している。こうした状況を踏まえ、どのように仕組みを構築できるか課題を整理する。



Q2 ひとり親の就労支援！

母子家庭の47.4%がパート・アルバイトで平均収入が125万円。母子家庭および父子家庭高等職業訓練促進給付金事業の利用者を拡大せよ。

A2 給付期間を3年に延長したことで、対象資格が調理師、看護師などに広がり、制度利用者が増加すると期待している。また、受給者の約2割が未修了となっていることから、修学途中でヒアリングを行うなど資格取得を支援する。

Q3 保育園開設の推進！

既に保育園が設置されている近隣への開設や過去の保育園開設の実績など、認可保育園開設について柔軟な対応を求める。

A3 保育園の近接でも必要な場所については設置を誘致し、認可保育園の開設実績についても昨年度より必要年数を下げるなど、取り組みを進めている。

精力的に自治体の先進事例を視察

区議会公明党では、よりよい品川区政の実現のため他自治体の先進的な事例を積極的に視察し、議会質問などに活かしています。

●5月22日 渋谷区 ● 子育て支援施設「かぞくのアトリエ」と「代官山ティーンズ・クリエイティブ」

アートに着目した子どもの居場所づくり事業。子どもたちの創造力、活動力を高めるため第一線のクリエイターによる教室やクリエイターとの交流などが行われています。



●5月24日 北九州市 ● 地方創生・介護ロボット

地方創生として、人口減少への対応のため女性と若者の定着を目指し、雇用環境と出産・子育て環境の整備を展開。
介護ロボットでは、介護のプロが担う仕事と介護ロボットに任せる仕事を明確化し、介護現場の人材不足解消と処遇改善を目指す。



●6月2日 荒川区 ● がん教育

小中学校でがん予防出前授業を実施。今後、がん検診受診率の向上に結びつくか注目される。

障がい者の模擬投票を実施

品川区は区内の障がい者団体と協力して、「障害のある方のための出前講座・模擬選挙」を5月15日、荏原文化センターで初開催し、軽度の知的障がいのある45人が本番さながらの投票を体験しました。



参加者は初めに、区選挙管理委員会の職員から、投票用紙に文字を記入できない選挙人のための制度「代理投票」などの説明を受け、区の自立支援事業「日曜サークル」の会長選挙を想定して投票。

会場には、実際の選挙で使われるのと同じ投票用紙の交付機や記載台などが設置され、投票管理者も立ち会いました。

参加者は、「とてもいい練習になった」と話していました。
模擬選挙の実施については、障がい者団体から要望を受けた区議会公明党が、昨年9月の区議会定例会で「障がい者が選挙を身近に感じられるための施策を」と訴えていました。



品川の未来をつくる施策が実現!!

平成28年度 補正予算から主なものを紹介します。

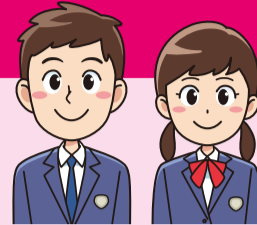
地域ミニデイ事業「大崎ゆうゆう」の実施

介護予防通所サービスの新しい取り組みとして、8月から通所ミニデイ「大崎ゆうゆう」を実施します。地域の皆さんが主体となる、新しい形の介護予防通所サービスです。この事業は、運動健康指導士とボランティアが中心となり、要支援1・2で自力で通所できる65歳以上の高齢者を対象に健康運動指導士によるバイタルチェックや健康体操、会食、健康講座などのプログラムを実施していきます。実施場所は「大崎ゆうゆうプラザ(大崎 2-7-13)」、週に1回4時間程度のプログラムになる予定です。



マイスクール五反田に不登校支援コーディネーター

マイスクール五反田は、不登校になりそうな生徒に対して、在籍校と連携し、学校復帰に向けて取り組む適応指導教室です。今年2月、文科省から「フリースクール等で学ぶ不登校児童生徒の支援モデル事業」に指定され、コーディネーターを配置することで不安・悩みの相談や学校支援など手厚い対応を行います。



東品川清掃作業所前に防災栈橋を整備

東品川清掃作業所前の栈橋は、今年3月に東京都港湾局の防災栈橋整備計画で防災栈橋として位置付けられました。それを受けて、この栈橋に小型船舶が着けるような浮き栈橋や階段などを整備します。防災と水辺の利活用の両方を備えた施設として広く活用していきます。



オリンピック・パラリンピック教育プラン

2020年東京五輪・パラリンピック大会に向けて、品川区の全区立学校・幼稚園で、オリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めるための教育プランを実施します。「品川版オリンピック・パラリンピック学習読本」を作成し全児童・生徒に配付するほか、世界各国について学習し人々と交流を深める「世界ともだちプロジェクト」、区内開催予定競技の体験教室などを行います。



区政に関する意見交換を実施



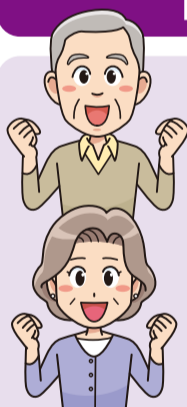
7月13日(水)～22日(金)に、区内の各種団体と区政に関する意見交換や要望をお聞きする懇談会を実施しました。今年で10年目となる懇談会では、医療・福祉・障がい者団体をはじめ、建設関連団体、税理士や行政書士などの士業の団体等、32団体の方々と大変に有意義な意見交換の場を持つことができました。諸団体からお聞きした区政に関するご意見・ご要望は、議会質問や予算要望等を通じてよりよい区政へと活かしてまいります。

住みなれた「しながわ」でいつまでも元気にイキイキ!

新たに4カ所を拡充! 「支え愛・ほっとステーション」

高齢者が住みなれた地域で日常生活を送れるよう、生活支援コーディネーターが支援を行う「支え愛・ほっとステーション」が、新たに4カ所の地域センター内に開設されました。ひとり暮らしの高齢者の方の身近な相談窓口として様々なお困りごとを伺うほか、訪問支援、生活支援のコーディネートなどを行っています。お気軽にご相談ください。相談の受付は直接地域センターにお越しいただくか、お電話でも結構です。

また、10月には、地域の「支え愛」の輪に一人ひとりが関心を持っていただくため「地域の支え愛推進フォーラム・ワークショップ」を開催する予定です。



新規開設

- 品川第一地域センター (北品川 3-11-16) ☎6433-9133
- 大井第一地域センター (南大井 1-12-6) ☎6404-6878
- 荏原第三地域センター (平塚 1-13-18) ☎6421-6542
- 八潮地域センター (八潮 5-10-27) ☎5755-9828

既存の施設

- 品川第二地域センター (南品川 5-3-20) ☎6433-0441
- 大崎第二地域センター (大崎 2-9-4) ☎6303-9139
- 大井第二地域センター (大井 2-27-20) ☎5728-9093
- 荏原第二地域センター (荏原 6-17-12) ☎6426-4110

※今後、区内13地域センター全てに「支え愛・ほっとステーション」が設置される予定です。

公明党の区議会議員

- | | | | |
|----------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|
|
わかばやし
若林 ひろき |
しのぶ
たけうち 忍 |
あさの
浅野 ひろゆき |
たかこ
このの 孝子 |
|
つかもと
塚本 よしひろ |
ひろお
あくつ 広王 |
しんいちろう
つる 伸一郎 |
にいづま
新妻 さえ子 |

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03 (5742) 6817

FAX 03 (3774) 3366

Eメール info@shinagawa-komei.org